

2022年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	かたやま やすひこ		職 位	特別任用 常勤講師	学 位	修士 (言語教育情報)
教員氏名	片山 康彦					
アルファベット表記	Katayama Yasuhiko					
専門分野		英語教育学				
研究課題	テーマ	短大における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の融合				
	概要	スマホアプリを活用した外国語学習方略(Learn how to learn)の育成				
本年度 研究業績	研究費	総額：200,000 円 内訳：個人研究費 100,000 円 / 科学研究費 円 そ の 他 100,000 円 (みらい授業研究費)				
	研究テーマ	スキマ時間を活用したスマホアプリによる英語学習の実践研究				
	経過と到達点	年度末に経過と結果を学内で報告				

(1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート、専門誌記事等					
⑦学会での口頭発表、討論者(ディスカッサント)					

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書	持続可能な社会に向けて (京都経済短期大学経営・情報学会編)	2023.3	晃洋書房	第4章「持続可能な英語学習力をつけるための試み」 - スマホアプリの活用による自立型の学習支援を目指して-
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得 (競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業 (日 本学術振興 会) 申請				

2. 教 育 (本年度のみ)

		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義		
	演習	TOEIC500、TOEIC600、TOEIC800 キャリア・イングリッシュⅡ、 総合基礎英語	TOEIC500、TOEIC600 キャリア・イングリッシュⅠ、 編入対策英語Ⅰ 英語フォローアップ 異文化コミュニケーション
	実習		
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目		
	◆ 演習科目	学生の実態に応じて、講義中だけでなく、講義外でも継続的に学習ができるよう面談を実施し、個別のアドバイスも併用しながら、自立学習支援に努めた。	
	実習科目		

	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）
--	-----------------------

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

（2）学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

（3）講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	

4. 特記事項（本年度のみ）

本学必修科目（総合基礎英語）において、前年度より共通試験と共通の評価基準を導入し、成績と実力の乖離という従来からの問題は解消できた。一方で、前年度の英語担当者会議で、新入生の英語の学力差が大きすぎることで新たに課題となり、共通の教科書を使用する限界が指摘された。そのため、成績上位講座の教科書を学生のレベルに合ったものに変更し、学力に応じた対応ができるようになった。

前年度に比べ、本年度の入学生の英語力が相対的に低いことが指摘されていたため、主として編入希望者を対象に夏季休業中に英語学習のオリエンテーションおよび個別面談を実施した。入学当初のオリエンテーションがさらに充実すれば、相乗効果があらわれ入学時から継続的に学習をする学生が増えると考えられる。